

# 事業報告書

令和3年12月1日～令和4年11月30日

公益財団法人 東京コミュニティー財団

## 1. 当期の概要

当期も引き続きコミュニティー財団としての事業拡大を目指して、新たな基金の設立に向け、寄附検討者等との面談を通じ、当財団の設立目的、事業概要の説明等、民間の自主的な社会貢献活動における「コミュニティー財団形式」の理解と啓蒙に努めました。コミュニティー財団として社会的なニーズや要請に適うとともに、当財団の基盤を拡充するための新たな基金の設立に向けた活動を積極的に行いました。

当期においては、冠基金として新たに5件の基金を設立しました。うち1件は個人の寄附により犬猫等の殺処分・虐待問題の解決に向けて活動するNPOを支援する『ラッキー基金』で、1件は法人の寄附により埼玉県内における地域活性化事業を行うNPOを助成対象とした『アズ企画設計SDGs基金』です。また提携金融機関からのご紹介による遺贈寄附による新規冠基金が3件設立され、いずれも寄附者の意向を反映した内容となっています。ご相談・ご検討中の遺贈寄附希望者も複数人おり、遺贈による社会貢献を希望される方が増え、なかでも奨学金の給付により学生を支援したいという要望が多くあり、当財団としてもこうしたニーズに応えるべく奨学金事業を行いたい考えで、そのために必要な検討・準備作業を行い、次年度に継続していきます。

既設基金『ファンドクリエーション基金』については昨年に続いて寄附を受け、10団体へ助成を実施しました。

『新型コロナウイルス感染症：いのちとところを守るSOS基金』から2021年4月に助成金を支給した特定非営利活動法人 *toiro commune designing* については、助成申請時の事業が予定通りに進まず、申請事業の実現性が不透明であること、事業報告体制についても不備があることから、令和4年2月28日の理事会にて、使用残金については返金を求めることを決定し、類似事業を行っている2団体に令和4年4月27日に追加助成を行いました。

事業指定型プロジェクト基金として令和3年に設立した『エデュケーション・ビヨンド基金』については、コロナ禍の影響で一時中止していた寄附募集を5月に再開し、1法人9個人からご寄付をいただきました。

また各地のコミュニティー財団と連携し、クラウドファンディングによる被災地支援基金の設立を企画し、当期中での新基金設立にまでは至らなかったものの、社会的なニーズや要請に適うものとして具体化に向けて財団内での準備を進めています。また、こうした多数の寄付者が想定されるプロジェクト基金の運営の際に必要な寄附者管理システムの導入についても検討しています。

前期に引き続き財団の各種規程を精査するとともに、業務監査の実施と四半期毎の理事会での監査結果報告を行い、財団が法令・規程等に基づき適正に運営される体制整備についても継続して行っております。

以上、当期の活動の結果、新設基金5件設立、うち1基金については助成を実施、1基金については助成先の選定等準備中で、3基金は遺贈によるご寄附となります。また既存基金1件は昨年に続き助成を実施しました。

さらに、来期以降については、「奨学金」や「被災地支援」等をテーマに基金の設立に向けた取り組みを推進するとともに、当財団に対する社会的ニーズや社会的要請に対して応えるべく、様々な取り組みについて検討を進めていく方針です。

## 2. 資金の獲得

- (1) 寄付金・「エデュケーション・ビヨンド基金」へ1法人・9個人より1,981,000円
  - ・「ファンドクリエーション基金」へ法人より55万円
  - ・「ラッキー基金」へ個人より50万円
  - ・「アズ企画設計SDGs基金」へ法人より10万円合計3,131,000円のご寄附をいただきました。
- (2) その他：補助金等、その他寄付以外による資金獲得はありません。

## 3. 助成事業

- (1) ファンドクリエーション基金より、10件の非営利組織に対して各5万円、計50万円の助成を行いました。
- (2) ラッキー基金より、3件の非営利組織に対して25万円1件、10万円2件、計45万円の助成を行いました。

## 4. 広報活動

多くの寄附者・非営利組織・各種団体にアクセスいただけるよう財団ホームページのリニューアルを行い、当財団からの情報発信と同時に、多くの団体・個人から多様な内容のご質問・ご相談等をいただき、寄附希望者や社会のニーズを知るツールとしても活用しています。今後も、様々な機会を捉えて当財団からの情報発信と情報開示を行ってまいります。

## 5. その他

3月に行われた内閣府による立入検査の結果、前回の立入検査時に指摘された事項については概ね改善されたとの評価を頂き、今後改善すべきとの指摘を受けた事項については速やかに改善処理を行いました。

6. 管理関係

<評議員会>

開催日	報告事項・協議事項
2022年2月28日	〔報告事項〕 1. 監査報告の件 2. 第13期（自2020年12月1日至2021年11月30日）事業報告の内容報告の件
	決議事項
	1. 第13期（自2020年12月1日至2021年11月30日）貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、並びにこれらの附属明細書等の承認の件 2. 理事2名選任の件 3. 監事1名選任の件

<理事会>

開催日	報告事項・協議事項
2021年12月7日	〔報告事項〕 1. 第13期第4四半期 業務執行状況報告 2. 第13期第4四半期 業務監査について
	決議事項
	1. 新基金設立「アズ企画設計SDGs基金」に関する件
2022年2月9日	報告事項・協議事項
	〔報告事項〕 1. 監査報告の件 2. 第13期（自2020年12月1日至2021年11月30日）事業報告の内容報告の件
	決議事項 1. 第13期（自2020年12月1日至2021年11月30日）貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、並びにこれらの附属明細書等の承認の件 2. 定時評議員会の招集の件
2022年2月28日	決議事項
	1. 「新型コロナウイルス感染症いのちとところを守るSOS基金」助成先に対して助成金の返還を求める件
2022年4月6日	報告事項・協議事項
	〔報告事項〕 1. 第14期第1四半期 業務執行状況報告 2. 第14期第1四半期 業務監査について 3. 内閣府立入検査の血管の件
	〔協議事項〕 1. 奨学金事業の取組に関する件
	決議事項 1. 「新型コロナウイルス感染症いのちとところを守るSOS基金」返還金再分配

	<p>に関する助成先の決定の件</p> <p>2. 遺贈寄附候補者に係る奨学金事業の取り扱いに関する件</p> <p>3. 「エデュケーション・ビヨンド基金」申請事業の変更の件</p>
2022年9月15日	<p>報告事項・協議事項</p> <p>〔報告事項〕</p> <p>1. 第14期第2四半期 業務執行状況報告</p> <p>2. 第14期第2四半期 業務監査について</p> <p>3. LETS 仙台の件</p> <p>決議事項</p> <p>1. 「ラッキー基金」助成先の承認の件</p> <p>2. 被災地支援基金設立に関する件</p>
2022年10月13日	<p>決議事項</p> <p>1. 新規冠基金「範子基金」設立の件</p>
2022年11月9日	<p>決議事項</p> <p>1. 2023年度事業計画書及び収支予算案承認の件</p> <p>2. 新規冠基金「フー子基金」設立の件</p>
2022年11月28日	<p>報告事項・協議事項</p> <p>〔報告事項〕</p> <p>1. 第14期第3四半期 業務執行状況報告</p> <p>2. 第14期第3四半期 業務監査について</p> <p>決議事項</p> <p>1. 「ファンドクリエーション基金」助成先の承認</p> <p>2. READYFOR 株式会社との業務委託基本契約締結の件</p>

<助成委員会>

2022年9月6日	<p>決議事項</p> <p>1. 「ラッキー基金」の助成先選定の件</p>
2022年11月24日	<p>決議事項</p> <p>1. 「ファンドクリエーション基金」の助成先選定の件</p>

## 第14期（2021年度）事業報告の附属明細書

第14期（2021年度）事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は「事業活動の状況の概要のうち重要なもの」が存在しないので、作成していない。

2023年2月28日

公益財団法人 東京コミュニティー財団